

稲吟OB会会報

No35



① 在早稲田

早稲田大学稲吟 OB 会

目次

稲吟 OB 会 会長・副会長挨拶	2
早稲田大学稲吟 OB 会 会長 平成 3 年卒 大竹茂行	
早稲田大学稲吟 OB 会 副会長・事務局長 平成 6 年卒 田口勝徳	
平成 24 年度定例総会報告	3
早稲田大学稲吟 OB 会 副会長・事務局長 平成 6 年卒 田口勝徳	
活 動 報 告	6
2011 年度 現役・OB 会交流会	早稲田大学稲吟 OB 会 副会長・事務局 平成 4 年卒 菅原 均
2012 年度 新年会	早稲田大学稲吟 OB 会 副会長・事務局 平成 6 年卒 田口勝徳
会 員 の 方 か ら	8
OB 会親睦ゴルフ会へのお誘い	昭和 41 年卒 明石 勝
稲吟会情報	9
第 56 代執行部を終えて 稲吟会	第 56 代執行部幹事長 紺谷弘毅
第 57 代執行部幹事長挨拶 稲吟会	第 57 代執行部幹事長 木嶋孝幸
発表会の感想	副幹事長 藍原泰園
新歓コンパ開催のお知らせ	
事務局から	11



稲吟 OB 会 会長挨拶

早稲田大学稲吟 OB 会 会長
平成 3 年卒 大竹 茂行



未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から 1 年が経ちました。私自身もこの 1 年の間に何度か被災地に足を運び、被害の大きさを目の当たりにしました。改めて被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げるとともに、被災地の復興が一刻も早く進むことを心よりお祈り申し上げます。

東日本大震災で浮き彫りとなったのは「絆」の大切さでした。家族の絆、仲間の絆、地域の絆… 私たちは様々な絆によって結ばれ、そして生かされていることに改めて気付かされました。早稲田大学稲吟会、そして稲吟 OB 会もまさにそのような「絆」の一つであり、さらに言えば、「絆」の重みを噛みしめ、「絆」を大切にしてきたからこそ、50 有余年の歴史を刻んできたと言えるのではないのでしょうか。

さて、ここ数年、現役会員数が伸び悩んでいます。特に昨年は東日本大震災の影響で思うような新入生勧誘活動ができなかったと聞いています。これに対し、OB 会としても決して手を拱いていたわけではなく、様々な支援を行ってきました。今年も昨年に引き続きポスターやチラシの作成に加え、コンパ代の援助などによって現役諸君をサポートしていきたいと考えています。しかし、金銭面での援助だけでなく、部室や飲み会、行事などに顔を出して激励することも現役諸君にとっては心強く、精神的に大きな支えになることと思います。「絆」の力によって現役諸君を盛り上げていこうではありませんか。

最後になりましたが、OB 会の皆様の今後益々のご健勝をお祈りしてご挨拶に代えさせていただきます。

稲吟 OB 会 副会長挨拶

副会長・事務局長就任にあたり

早稲田大学稲吟 OB 会 副会長・事務局長
平成 6 年卒 田口勝徳



平成 6 年卒会の田口です。この度、菅原先輩より OB 会事務局の責任者を引き継ぐにあたり、自己紹介も兼ねまして一言ご挨拶申し上げたいと思います。

私が稲吟会に入会したのは平成 2 年のことで、卒会する平成 6 年までの間はまさにバブル景気の絶頂期であったかと思います。当時私たち学生としては、夜中にアルバイトをしては毎日の飲み代を捻出するのに苦労していた記憶があり、金銭的には好景気であることを実感していませんでしたが、就職のことなど社会全体の情勢を鑑みますとやはり恵まれた時代に過ごさせていただいたのかなと思う次第です。その後、卒業して就職してからは名古屋で勤務することとなり、入社以来約 15 年間で名古屋で過ごしました。その間、通常の OB 会活動には参加することなく、会費の納入についても不確実、周年大会ですら予定の空いている時だけ出席する程度の会員でありましたが、年末年始やお盆の時期に私が埼玉県の実家に帰省した際には、気心の知れた先

輩・同級生・後輩たちが何名か集まっていたいただき、旧交を温めることが出来ました。そんな中で一人のOB会員として私なり感じるようになったことがありました。それは「根を切らない」ということで、社会人になりますと何かと忙しく、なかなかOB会とのかかわりも疎遠になりがちですが、久しぶりでも温かく迎えてくれる昔の仲間たちは、仕事を通じて知り合った新しい仲間とも一味違う存在であり、自分の生涯を通じて付き合っていきたい大切な財産であると思うようになっていきました。それも稲吟OB会という私の根を絶やさずにこれまで支えてきていただいた諸先輩方のおかげであると思っており、皆様の存在に深く感謝する次第です。

そんな中で 2009 年に東京へ転勤となった際に菅原先輩よりお声がけいただき、OB会の事務をお手伝いする機会をいただきました時には、私と同じように地理的環境や、仕事、家庭の状況など様々な要因でOB会から疎遠になりがちの方達でも、「稲吟OB会の会員」という「根」を自分の中で断ち切らずに在ることができれば、また数年後、数十年後でも再会できるチャンスがあるのでは？という思いもあり、お手伝いさせていただくことと致しました。特に昨年は震災により「絆」という言葉を再認識することになりましたが、決して今は深い絆となっていなくても、ほんの少しでも絆を繋げていくことの大切さを私自身が信じていることもあり、気軽に皆が再会できるための「根」としてOB会が存在していくことが出来るよう事務局として関わっていきたいと考えているところです。末筆になりますが、これまで事務局長の任にあたってこられた菅原先輩のご尽力に感謝申し上げますとともに、事務局に対しましてこれまで同様皆様よりご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

2012 年度定例総会報告報告

早稲田大学稲吟 OB 会 副会長・事務局長
平成 6 年卒 田口勝徳

2012 年 2 月 12 日（日）16：00～17：15 早稲田奉仕園セミナーハウス 1 階 104 室にて 12 人のOB会員が出席し、定例総会が行われました。冒頭大竹会長からの挨拶の後、田口副会長兼事務局長の就任、2012 年度の活動計画及び予算など、下記内容が承認されました。



1. 2011 年度活動報告

2011 年

2 月 20 日	稲吟 OB 会定例総会 稲吟 OB 会新年会
(中止)	稲吟会春練習(3 月開催予定だったが中止)
3 月～4 月	稲吟会新勧支援
8 月 5 日	稲吟 OB 会会報 34 号発行 会費請求 事務局
8 月 27 日	稲吟会・OB 会交流行事
8 月 29 日～9 月 2 日	稲吟会夏合宿
10 月 29 日	稲吟会吟詠発表大会

2. 2011 年度決算報告 同会計監査報告

2011年度 (2011/1/1-2011/12/31) 通常会計 決算案

収入の部			支出の部			
費目	予算案	決算	費目	前年度決算	予算案	決算案
前年度繰越金	1,012,785	1,012,785	対稲吟会支援	120,000	120,000	120,000
年会費*	700,000	654,000	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
寄付金	0	0	稲吟会新勧緊急支援(1)	237,280	250,000	249,500
			通信費	127,187	120,000	57,140
			会報製作費	126,408	62,000	26,775
			広報関係費	3,390	5,000	3,390
			行事関係費	90,658	100,000	117,350
			慶弔費	11,500	30,000	18,343
			役員会議費	45,000	50,000	0
			事務局経費	8,871	20,000	4,881
			記念大会特別会計繰入	0	350,000	350,000
			地方等支援	0	40,000	0
			振込手数料	5,335	5,785	4,074
			予備費	0	500,000	0
			次年度繰越金	1,012,785	0	655,332
合計	1,712,785	1,666,785	合計	1,848,414	1,712,785	1,666,785

※年会費87名

以上

3. 役員人事

定例総会での承認事項

(退任) 菅原 均(H4) 事務局長を退任。事務局担当に就任。

(新任) 田口勝徳(H6) 副会長 事務局長に就任。

役員会議(2012年3月3日)での決定事項※

(退任) 片山 俊(H19) 現役担当を退任。

(新任) 高橋 優(H4) 事務局長代理に就任。

中川正章(H21) 現役担当に就任。

※2012年度定例総会後、4月以降の勤務先 人事異動により、

田口勝徳 副会長・事務局長が1年間アメリカへ、片山 俊現役担当が札幌市へ赴任することとなりました。

それに伴い、3月3日役員会議がもたれ、上記の人事が決定いたしましたこと、御報告致します。

なお、田口副会長・事務局長は留任致します。一年後の田口にご期待ください！！

これまで強い責任感を持って現役との調整や時にはOBとして指導をしていただいていた片山君のご尽力に深く感謝いたします。※

役員一覧 (2012年3月現在)

※(卒年) 敬称略※

顧問	野中民蔵(S40)	松岡宣夫(S41)	須田芳矩(S42)
	藤田和夫(S45)	小出秀文(S48)	
会長	大竹茂行(H3)		
副会長	松村哲郎(S48)	行俊昭(S62)	菅原 均(H4)
	田口勝徳(H6)	関西支部支部長	事務局
	事務局長		
会計監査	山田仁史(H1)		
事務局	高橋 優(H4)	板倉真介(H10)	金田和歌奈(H21)
	事務局長代理	会計担当	
現役担当	中川正章(H21)		

4. 2012 年度活動計画

★2012 年(平成 24 年)

2 月 12 日	稲吟 OB 会定例総会 稲吟 OB 会新年会
3 月	稲吟 OB 会会報 35 号発行 会費請求 事務局
3 月	稲吟会春練習
3 月～4 月	稲吟会新勧支援
7 月	稲吟 OB 会会報 36 号発行 会費請求 事務局
8 月	稲吟会・OB 会交流行事
9 月	稲吟会夏合宿
10 月	稲吟会吟詠発表大会
12 月	稲吟 OB 会会報 37 号発行・定例総会告知 会費請求 事務局

5. 2012 年度(2012 年 1 月 1 日～12 月 31 日)予算案

2012年度 (2012/1/1-2012/12/31) 通常会計 予算案

収入の部			支出の部			
費目	前年度決算	予算案	費目	前年度予算	前年度決算	予算案
前年度繰越金	1,012,785	655,332	対稲吟会支援	120,000	120,000	120,000
年会費*	654,000	700,000	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
寄付金	0		稲吟会新勧緊急支援(1)	250,000	249,500	250,000
			通信費	120,000	57,140	180,000
			会報製作費	62,000	26,775	95,000
			広報関係費	5,000	3,390	3,390
			行事関係費	100,000	117,350	110,000
			慶弔費	30,000	18,343	30,000
			役員会議費	50,000	0	90,000
			事務局経費	20,000	4,881	21,942
			記念大会特別会計繰入(2)	350,000	350,000	60,000
			地方等支援	40,000	0	80,000
			振込手数料	5,785	4,074	5,000
			予備費(3)	500,000	0	250,000
			次年度繰越金	0	655,332	
合計	1,666,785	1,355,332	合計	1,712,785	1,666,785	1,355,332

※ 年会費100人想定

(1)本年度も継続

(2)次回準備金を270万円と想定。本年で270万円確保予定。

(3)現役緊急支援、来年度分の確保。支援内容は状況を踏まえ検討

6. その他

現役の新入生勧誘支援に注力すべきとのご意見をはじめ、現状の OB 会活動において、発表会への OB 出席や現役との交流、または OB 同士での交流を充実させるべく、活発な議論が交わされた。また、OB 会費の有効な使い道についてより一層の努力を求められるご意見も頂戴し、会費水準の適正化についても議論がなされたが、現状の単年度収支状況からすると、記念大会特別会計への積立などを除くと会費収入と通常活動経費ではほぼ過不足がなく、現状の水準で適正であることをご理解いただいた。

活動報告

現役・OB 会交流会

早稲田大学稲吟 OB 会 副会長・事務局
平成 4 年卒 菅原 均

2011 年 8 月 27 日（土）、高田馬場駅前『中華料理 石庫門』にて現役・OB 会交流会が行われました。当日は OB 会員 12 人【敬称略（卒年）：松井（S41）、松岡（S41）、小林（S44）、藤田（S45）、松村（S48）、高畑（S54）、大竹（H3）、古賀（H4）、高橋（H4）、菅原（H4）、小泉（H6）、田口（H6）】、現役 7 人【4 年加賀美、3 年愛甲、紺谷、2 年木嶋、1 年藍原、内田、前原】にご参加戴きました。55 周年記念大会の話を始め、思い出話、これからの話で大いに盛り上がりました。



2012 年度 新年会

早稲田大学稲吟 OB 会 副会長・事務局長

平成 6 年卒 田口勝徳

定例総会終了後、早稲田駅近く「茜どき（早稲田店）」にて新年会を開催致しました。OB 会員 18 人【敬称略（卒年）金子（S35）、松井（S41）、松岡（S41）、北村（S44）、小林（S44）、藤田（S45）、松村（S48）、大竹（H3）、高橋（H4）、田口（H6）、池端（H11）、戸谷（H11）、江口（H18）、片山（H18）、木島（H19）、平井（H20）、渡辺（H20）、中川（H21）】に、現役 4 人【紺谷、木嶋、藍原、前原】が合流し、各自が近況を報告し合うなど前年の新年会よりも更に賑やかな宴となりました。またその後、二次会では【金田（H21）】も合流して更に楽しい会話を楽しむことが出来ました。



会員の方から

OB 会親睦ゴルフ会へのお誘い

昭和 41 年卒 明石 勝

昭和 41 年卒の明石です。 栃木県宇都宮市に住んでいます。

伊豆を舞台に毎年開催していた OB 会ゴルフコンペがバブルの崩壊と期を同じくして 2003 年に休会となって寂しい思いを抱いていた私達の卒年前後のゴルフ同好者が集って、2005 年秋に場所を下野の国に移して OB ゴルフ会を再開しました。

毎年 10 月始めの金曜日に栃木県鬼怒川温泉に泊り掛けで楽しむ OB 親睦ゴルフ会です。 昨年で 7 回を数えました。

一応社会人の第一線を卒業され、或いは時間的に余裕のある現役 OB の皆さんを中心に、日頃の忙しさを忘れて気の置けない稲吟会の仲間と昼

はゴルフを楽しみ、夜は鬼怒川温泉の湯に浸かりそして心ゆくまで酒を酌み交わしながら歓談する楽しみを満喫しています。

当初から、遠くは大阪在住の松本先輩、野中先輩が毎年参加して下さるのを始め、静岡、埼玉、東京、千葉在住の OB が参加し毎回 3 組ほどでコンペ形式で行っています。



コンペコースは日光市にある「杉ノ郷カントリークラブ」を毎回使用してきています。

二日目は更に希望者を募り「鬼怒川カントリークラブ」でもう 1 ラウンド プレーを楽しんで散会します。両コースとも参加される皆さんからは毎回好評を得ておりますので、新たに参加される皆さんも、きっと満足出来るコースだと思います。

OB 会報の紙面を借りて OB 諸兄に広くお知らせし更に同好親睦の仲間を増やせたらと願っています。



今年は関西 OB 会行事の「グルメの会」が 10 月初めに決定したそうですので、それと重ならない様に 9 月最後の金曜日に開催をする予定であります。時間の許されるゴルフ好きの OB の皆さんは是非参加をお考えください。

松岡・明石まで何時でもメールしてください。



※写真提供：昭和 45 年卒 藤田和夫さん※

稲吟会情報

第五十六代執行部を終えて

第 56 代執行部幹事長
紺谷弘毅

早いもので私が稲吟会に入ってから 3 年の月日が流れました。56 年の歴史の中でみるとたった 3 年間ではありますが、私にとっては激動の 3 年だったと感じております。会員の減少に苦悩したりそのなかで 55 周年記念大会を経験したりと、様々な経験を積み成長することができました。このような経験を積むことができたのも、多くの先輩方の支援があったからだと心得ております。この場を借りてお礼申し上げます。50 年以上の歴史がある稲吟会ですが、今まさに転換期を迎えていると感じております。時代の流れに淘汰されないためにも、古き良き伝統は守りつつ、旧態依然とした価値観などはいくつか改めていく必要があるのではないかと考えています。そのためにも現役会員には今まで以上に主体的に行動を起こすことが求められると考えています。会員にはこの会を自由に楽しんでほしいというのが私の一番の願いではありますが、やはり現状を打破するには各会員の不断の努力が不可欠です。変えようという意志のない所に変化は起きません。そのような意志を持った次の世代に対して、かつて自分が支えられていたように、後輩たちを支援していければと考えております。



第五十七代執行部幹事長挨拶

第 57 代執行部幹事長
木嶋孝幸

思い返せば、2 代上の加賀美先輩に勧誘されてから早 2 年。このたび第 57 代執行部幹事長を務めることとなりました。また、幸か不幸か、指導幹事も任されることになりました。出来損ないの私には、どちらも大変責務の重い役職ではありますが、これから精進してゆきたいと思えます。

私が稲吟会に入ったころには、既に会員数が極端に減っておりまして。昔は学年で 10 人は当たり前のようだったサークルも、盛者必衰というのか、こんなにも会員数が減ってしまうものなのかと驚いたものです。人数が少ないゆえに、就活をしている先輩方の時間を割いてもらったり、後輩たちにいい思いをさせてやれなかったり、自分自身も効率の悪さゆえに執行部の庶務に振り回されているのは、やはり心苦しいです。それでも自分が好きな漢詩に触れることができるのは、うれしいこと限りなしです。



私が一年だったころは、オールラウンドサークルという、趣旨がはっきりしないサークル、高校時代の腐れ縁を再現したかのようなサークルが人気だと聞いておりました。最近の傾向としては、就活を意識しているのでしょうか、ただ単に仲良くワイワイするだけでなく、何かしら得るものがあるサークルが人気だと聞いております。かつては多くの会員を抱え、ここまで人数が減っても稲吟会が続いてきた理由は、やはり「縁」と「伝統の心」だと思っております。詩吟も執行部の庶務も大事ですが、人

とのつながりも大事です。人とのつながりができれば、新しい価値観や経験を得ることができ、それが新たな「縁」を生み出してゆくでしょう。また、古典芸能という伝統と 1955 年創立という伝統に触れることで、学生から大人へと成長できるでしょう。私はそうでありたいです（笑）



本年の新歓チラシ

稲吟会は新入生の要請に応えることができるでしょうが、我々の存在に気づいてもらえるかが問題です。我々も早稲田の学生をやっているわけですから、頭をひねって、体を駆使して、かつてのにぎわいを少しでも取り戻してゆけたらと思います。

なんだか新歓の話ばかりになってしまいましたが、今後も詩吟を軸として、充実した時間を過ごしたいと思います。今後とも現役世代をよろしく願いいたします。

発表会感想

第 57 代執行部副幹事長 藍原泰園
文学部 新 2 年

はじめまして、藍原と申します。今回は 1 年会員としてはじめて発表会に出させて頂きました。そして、今回の発表会は僕にとって、今後の稲吟会人生を大きく変えることになったと思います。

まず僕はもともと詩吟に全く興味がなく、詩吟とはどういうものなのかもよく分からずにいました。入会したのも、たまたま練習を覗いてみて良さ気だったという軽い気持ちからです。そのためか入会してから暫くは練習もあまりやる気がなく、特に舞練は苦痛で仕方ありませんでした。そんな日々でしたが、夏合宿を迎え練習もガチな雰囲気にな



って行く中であっても、練習がダルくて仕方なかったのですが、ふとある考えが生まれました。「せっかくだし一度くらい真面目に詩吟やってみて、それでもつまらなかったらこのサークル止めよう」それからは、今までより少しは真面目に練習に取り組むようになりました。しかし詩吟とは難しいもので、転句の部分で声を上げようとする裏返ってしまったり、声量が全く安定しなかったりと苦勞の連続でした。でも苦勞するほど、なんとなくですが負けてたまるかという気持ちになっていき、気づけば以前とは比べ物にならないほど様になっている自分がいました。そしていつの間にか、僕は詩吟のとてつもない奥深さに気づき、その虜となっていたのでした。

同様に舞練も真剣にやれば清々しい汗がかけられるもので、吟ほどではありませんが受け入れられるようになってきました。何事も中途半端が一番苦しい、真剣にやってみて初めて楽しいと思える、当たり前のようなことですが、僕は詩吟を通してこの当たり前のことに気づくことができたのでした。

そしていよいよ迎えた 2011 年 10 月発表会の本番、僕は観客席を見て愕然としました。広い客席は空席だらけでした。遠くから多くの OB や稲吟会関係者が駆けつけてくれましたが、如何せんそれだけでは広い客席を埋めることはできないという詩吟の現状に胸が痛みました。でも逆にこれで緊張がほぐれたのか、その後の出番でも大きなミスはなく、会全体としてもまとまった発表ができたのは幸いでした。特に最後の現役 OB 関係者交えた校歌斉唱では、目頭が熱くなり、稲吟会に入ってよかったとしみじみ感じました。

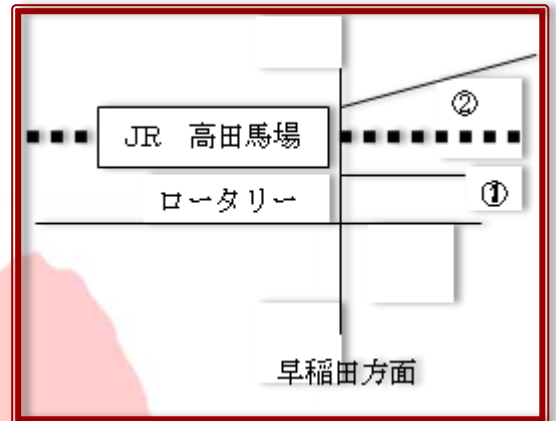
こうして無事成功に終わった発表会でしたが、詩吟を取り巻く現実を突きつけられてしまったのも事実です。今年は上級生として発表会に臨むこととなります。そのときまでには、詩吟の技術を今より向上させていくことはもちろんですが、少しでも多くの会員を集め、少しでも多く客席を埋められるように努力していきたいです。これからも精進していきますので、今後とも厚いご支援をよろしくお願いいたします。

稲吟会 新歓コンパ 日程・開催地決定！！

日程： 4 月 21 日（土）

場所： 一次会 18：00 居酒屋 「海乃家」①

二次会 20：30 居酒屋 「弁慶」②



◆◆ 事務局から ◆◆

OB 会員名簿正誤 名簿（2010 年度版）について、以下の 15 人分ご修正ください。（敬称略）



OB 会員名簿（2010 年度版）に新 OB の皆さんを追加してください（敬称略）
【卒年 H23】



【平成 24 年卒】



※名簿の内容について変更御座いましたら、meibo@togin.org までお知らせください。※

◆◆年会費（5,000 円）の振込みお願い致します！◆◆

※卒後 3 年までは 4,000 円です。※

振込先 ゆうちょ銀行 口座名 早稲田大学稲吟OB会 振替 00150-7-61740

振込用紙を同封します

《他の金融機関からの振込の場合…》

ゆうちょ銀行(金融機関コード 9900) 店番 019

店名 〇一九(ゼロイチキユウ)店 預金種別 当座、

口座番号 0061740 受取人名 ワセダダイガクトウギン OB カイ

都市銀行からのモバイルバンキングでの振込みも可能となりました。お試しください。

※ご本人の納入状況は、稲吟OB会事務局会計幹事の板倉真介(平10)に電子メール(kaikei@togin.org)もしくは往復はがきでお問合せください。往復はがきの場合は、ご自身の氏名、住所、卒業年度を返信面に記入の上、板倉までお送りください。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。※



担当より

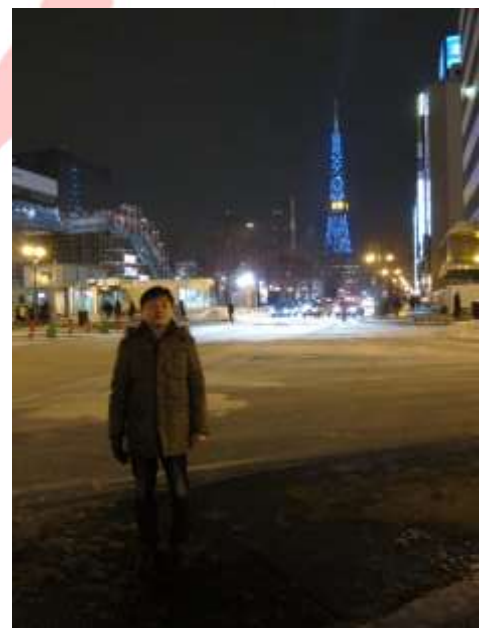
○寄稿戴きました昭和 41 年卒明石さん、記事関連の写真を送って下さった昭和 45 年藤田さん有難うございました。

○昨年 10 月、札幌に異動となりました。埼玉在住中は、大変お世話になりました。

○そうです。札幌で編集したのです。危うく札幌雪祭り特集、北海道観光地めぐりとなるところでしたが、H4 高橋、H6 田口に早稲田の写真を送ってもらい、早稲田っぽく出来ました。有難う！！

○札幌在住となりましたが、副会長のまま、事務局のお手伝いをさせて戴くこととなりました。今後とも宜しくお願い致します。本来であれば、『副会長挨拶』として原稿を載せるところですが、こちらの方が居心地がいいもので、ご容赦ください。

○関東近郊以外でも事務局への参加が可能な時代となりました。執行部への参加、どしどしご応募ください！！



平成 24 年 4 月 1 日 菅原 均
(H4 年卒 OB 会事務局)



発行：2012（平成 24）年 4 月 1 日
発行者：早稲田大学稲吟 OB 会事務局

編集発行責任者：菅原 均（稲吟 OB 会事務局）
早稲田大学稲吟 OB 会会報 通巻第 35 号

稲吟会ホームページ <http://www.togin.org/>
稲吟 OB 会 <http://www.togin.org/alumni/> 稲吟会 <http://www.togin.org/toginkai/>